

MCPC モバイルクラウド委員会 CIS WG 「モバイルクラウドにおけるモビリティ情報 利活用のビジョン」

2011年12月22日

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム (MCPC)

モバイルクラウド委員会 CIS WG

主査 柏山 正守 (日立オートモティブシステムズ)

■ 企業の枠を超えて

- モバイル機器、サービスに期待される役割・機能が大きく変化すると予測。モバイルとクラウドの組合せで、日本のアドバンテージを訴求して行く
 - コンセプトの策定と活用モデルの創出
 - モバイル情報端末、ネットワーク、コンテンツ(サーバ)との効率的接続手法の確立(I/F)
 - 発展の方向性を示し、モバイルコンピューティングの普及・促進を目指す



■ 状況

- クラウドサービス・ネットワーク・モバイル端末・認証の課題、留意点を議論
- ユーザ・サービサー各視点でのモバイルクラウド課題抽出推進中
- 全体ecoシステムイメージを共有、不足しているものへの対応策議論
 - ✓ モバイルクラウドを取り巻く状況説明 byデロイトトーマツ様
 - ✓ グローバル視点での日本の状況、米国との差異、ビジネスモデル説明 by宮城大学高橋先生

■ 今後の方針

- 国際競争力維持に向け、全体ecoシステムをベースにして、インタフェースの統一化
ビジネスモデルを今後の普及、促進のための具体的な活動に繋げていく

■ 構成メンバー

- 委員長 森山 浩幹(NTTドコモ), 副委員長 市原 直彦(パイオニア), 柏山 正守(日立オートモティブシステムズ)
- 委員 アルパイン、NECカシオモバイルコミュニケーションズ、NTTソフトウェア、沖電気工業、KCCSモバイルエンジニアリング、KDDI、JVCケンウッド、シャープ、新世代M2Mコンソーシアム、TDK、デンソー、東芝、トレンドマイクロ、富士通、富士ソフト、Bluetooth SIG、マカフィー、三菱電機
- アドバイザーとして、コンサルティング会社、大学教授など3名の方に参画いただいている

■ モバイルクラウド委員会の方針を受けたスコープ

- パーソナルモビリティ(自動車、自転車、歩行者など含めた)の有り方と活用モデル創出
- モバイルM2Mシステムにおけるクラウドサービスの効率的連携基盤の策定
- 移動手段とクラウドサービスの融合の中で発展の方向性を検討し、モバイルコンピューティングの普及・促進へ貢献

■ 検討状況

- モビリティ収集情報の共有・利活用の検討
- パブリッククラウドとしてのモバイルクラウド構想の検討

- ✓ モビリティ収集情報を共有・利活用するパブリッククラウドに関して課題抽出と対応策を議論
- ✓ モビリティにおけるBigDataクラウドのグローバルイニシアティブを取るために枠を超えて闊達な議論

- End to EndのM2Mシステムソリューションに画期的進化をもたらす
- Webをベースとしたシンプルな仕掛けの必要性
 - ✓ CoAP, HTTP, etc.
- オープネスの高い情報連携基盤やサービス連携基盤の必要性
 - ✓ Web API化

V4.0 Low Energy

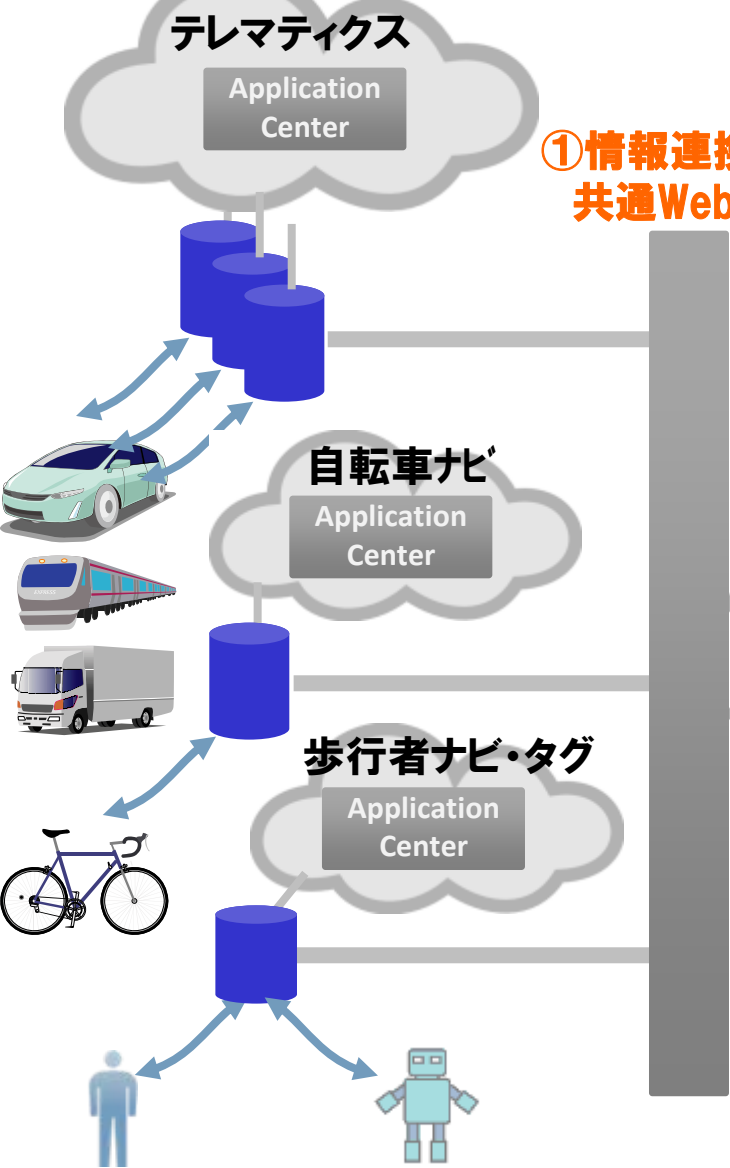


センサー技術とBluetooth v4.0に代表される
ローパワーワイヤレス通信デバイスの発達

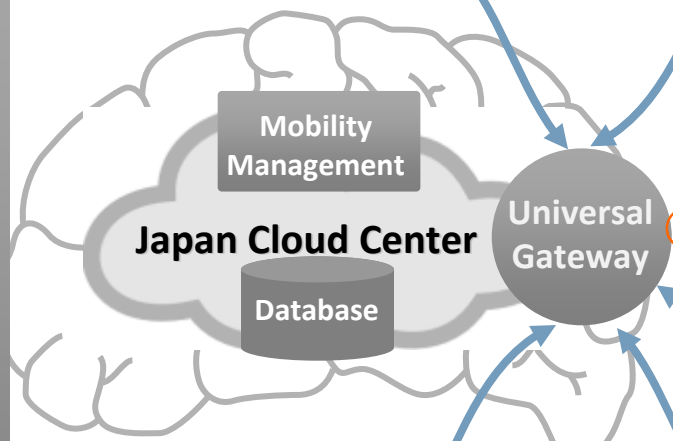
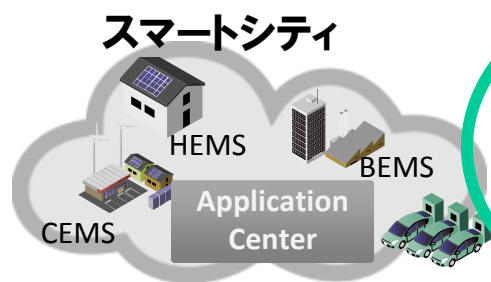
多数のビジネスアイデアが出現

モビリティ収集情報を共有・利活用するパブリッククラウド

パーソナルモビリティ



①情報連携基盤
共通Web API



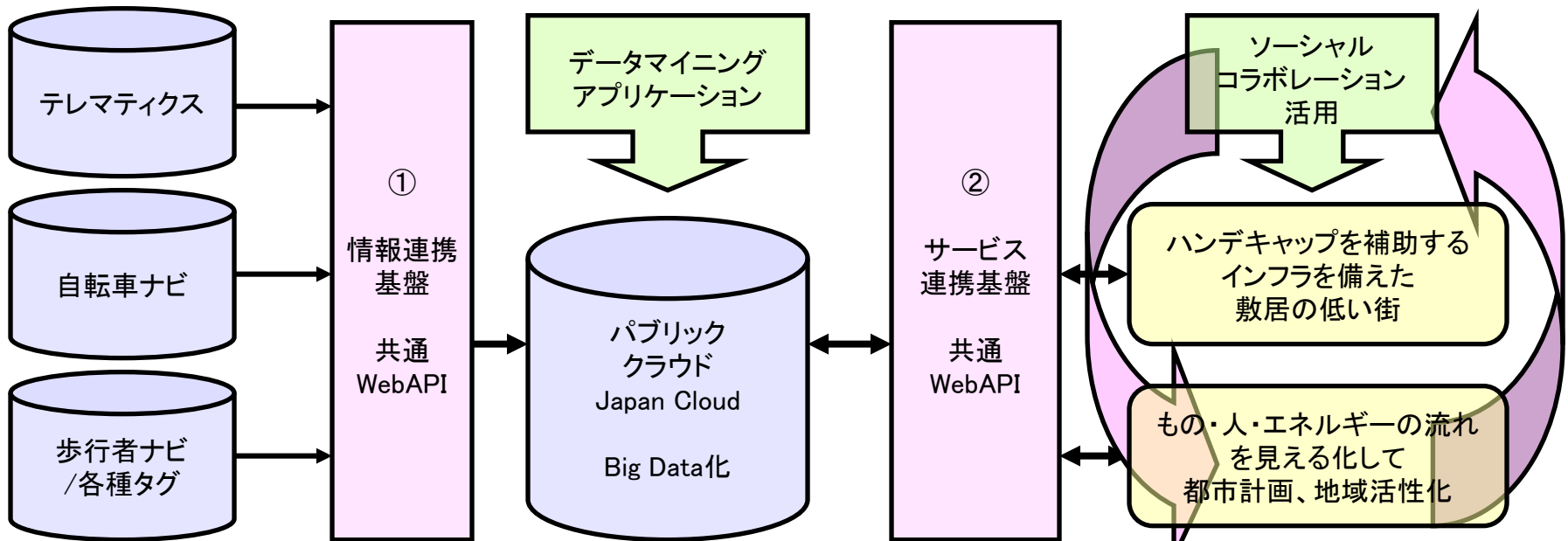
②サービス連携基盤
共通Web API



③ビジネスモデル
Open Services

今後の取り組み

- モビリティ収集情報を共有・利活用するパブリッククラウドの①情報連携基盤及び②サービス連携基盤の有り方検討・ガイドライン策定
- 広く移動手段とクラウドサービスの融合・発展の方向性を議論検討
- ユーザが欲しい情報は何か、出口を考えてクラウドの情報をどう持っていくべきか、様々な分野の方々の意見を取り入れる



ターゲット領域

MCPC モバイルコンピューティング推進コンソーシアム モバイルクラウド委員会CIS-WG

今後共ジャパン・クラウド・コンソーシアム（殿）との連携を図って参ります

問合せ先：モバイルコンピューティング推進コンソーシアム（MCPC）事務局

E-mail : office@mcpc-jp.org

END